

平成12年11月16日(木)～17日(金) 大阪大学蛋白質研究所セミナー

# マメ科のモデル植物ミヤコグサを用いた分子細胞生物学

11月16日 13:00～18:00

永井 克也(阪大蛋白研 所長)  
開会の挨拶

林 誠(阪大工)  
はじめに・ミヤコグサ研究の概観

原田久也(千葉大園芸)  
マメ科作物のゲノム研究から見たミヤコグサの意義

河内 宏(農業生物資源研)  
根粒形成初期応答, Mesorhizobium loti JRL501株のNod factorの構造とミヤコグサの応答について

川口正代司(東大総合文化)  
根粒共生変異体スペクトラムと根粒形成を負・に制御する原因遺伝子のクローニング

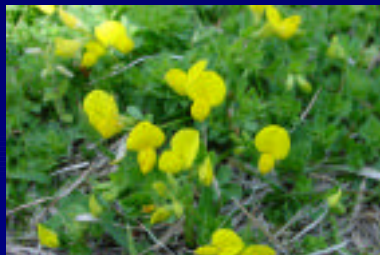
菅沼教生(愛知教育大)  
ミヤコグサの窒素固定発現に関する変異体 fix6(Ljsym75)とfix7(Ljsym81)の表現型解析

今泉(安楽)温子(農業生物資源研)  
alb1/sym74-1, sym72の表現型解析及びpositional cloningへのアプローチ

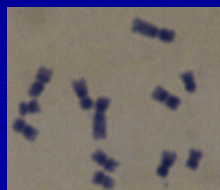
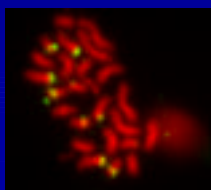
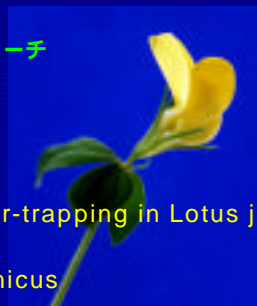
妹尾啓史(三重大生物資源)  
アーバスキュラー菌根菌の共生に異常を示す変異体

【特別講演】Peter Gresshoff (Queensland 大・オーストラリア)  
Isolation of nodule and root genes using promoter-trapping in Lotus japonicus

【特別講演】Jens Stougaard (Aarhus 大・デンマーク)  
Structural and functional genomics in Lotus japonicus



場所：大阪大学蛋白質研究所 1階講堂  
阪急北千里駅下車徒歩15分  
北大阪急行千里中央駅下車タクシー15分  
大阪モノレール阪大病院前駅下車徒歩15分



11月17日 9:30～15:00

青木俊夫(日大生物資源)  
ミヤコグサを用いたマメ科フラボノイドの研究

高林純示(京大農)

ハダニに対するミヤコグサおよびマメ科植物の誘導間接防御応答

畑 信吾(京大生命科学)

インゲン根粒菌によって形成されたミヤコグサの早期老化型根粒について

金子貴一(かずさDNA研)  
ミヤコグサ根粒菌のゲノム構造解析

佐伯和彦(阪大理)  
ミヤコグサ根粒菌遺伝子の系統的な不活性化に向けて

南澤 究(東北大遺伝生態研)  
ミヤコグサ根粒菌の網羅的な遺伝子発現解析を目指して

佐藤修正(かずさDNA研)  
ミヤコグサゲノム研究のためのリソースの整備

渡辺正夫(岩手大農)  
DNAマイクロアレイを用いたミヤコグサ花器官成熟関連遺伝子の探索

福井希一(阪大工)  
ミヤコグサの染色体およびゲノムサイズ

川崎信二(農業生物資源研)  
ミヤコグサ全ゲノムライブラリーの整理化に向けて

田畑哲之(かずさDNA研)  
ミヤコグサゲノム解析の展望

参加費無料、事前登録不要の自由参加ですが、予め参加申し込みされた方には講演要旨集を無料で配付します。また、ご希望によりミヤコグサ種子・ミヤコグサ根粒菌を無料で配付します。(下記連絡先ホームページを通じて参加申し込みをお願いいたします。)なお、特別講演以外の講演は日本語で行われます。

オーガナイザー  
佐伯和彦(阪大理)、林誠(阪大工)  
中井正人(阪大蛋白研)

連絡先  
〒565-0871 吹田市山田丘3-2  
大阪大学蛋白質研究所  
中井正人  
TEL: 06-6879-8612  
FAX: 06-6879-8613  
E-MAIL: nakai@protein.osaka-u.ac.jp

ホームページ: <http://plant.protein.osaka-u.ac.jp/lotus2000/>